

東京東江戸川ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区 TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB

世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world

RI 会長 K.R. ラビンドラン

ロータリー活動を全会員で
ACT all the Rotarians

Rotary

クラブ会長 田村 亘



北海道上川郡美瑛町の広大な農場と青空

◆ 例会日 ◆ 毎週火曜日 12:30~13:30
◆ 創立 ◆ 1969年9月18日(日本で951番目)

◆ 例会場 ◆ タワーホール船堀 〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 TEL 03(5676)5511

本日の卓話

(紹介者 プログラム委員会)

「口と人生(ロータリー)」

メンバー・友好クラブ委員長
地区日韓友好特別委員会委員
鈴木 富士雄 君

次回の卓話

(紹介者 中田君)

「可能性をあきらめない!子どもたちの未来を笑顔に!
~児童養護施設から社会へ

巣立つこどもたちへの自立支援~」

NPO法人ブリッジフォースマイル 事務局長
菅原 亜 弥 氏

《 12月8日例会報告 》

点 鐘

ロータリーソング「我等の生業」

来賓紹介

◎ゲスト 0名

◎ビジター 3名

矢島 寛氏 (東京江北RC)

長谷正一氏 (")

谷茂岡昭氏 (") 以上3名

出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
37名	30名	93.75%	100%

幹事報告

○本日PM6:30~東武ホテルレバント東京4階「錦の間」にて、東京臨海東RC忘年家族会開催。田村会長、一桝幹事出席。

○12月9日(水)PM2:00~ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューにて、沖縄分区IM開催。嶋村副会長出席。

○12月12日(土)PM5:30~ロイヤルパークホテル2階「春海の間」にて、忘年家族会開催。

————— 例会臨時変更のお知らせ —————

12月24日(木)

・東京向島RC

→ 12/21(月)夜間移動例会(忘年家族会)

・東京江戸川中央RC、東京リバーサイドRC

→ 特別休会

12月25日(金)

・東京東RC、東京板橋セントラルRC → 休会

12月28日(月)

・東京江戸川RC、東京城東RC、東京上野RC
→ 特別休会

12月29日(火)

・東京江東RC、東京足立RC、東京臨海東RC、
東京葛飾中央RC、東京板橋RC、東京武蔵野RC
→ 特別休会

委員会報告

<親睦活動委員会>

・忘年家族会について

《 卓 話 》

12月8日の卓話は、メンバー・元東分区ガバナー補佐・元「ロータリーの友」地区代表委員、石橋正男君の「公式地域雑誌『ロータリーの友』について」でした。

会 長 ◆ 田村 亘
副会長 ◆ 嶋村 文男
幹 事 ◆ 一桝 靖人会報・雑誌委員会 ◆ 田中保夫・唐澤正樹・石橋正男・阿部昇・森本弘・荻原正俊
事 務 局 ◆ 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル2F AのB室
TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774
http://e-edogawa-rc.com



ニコニコBOX

本日入金…¥ 34,000
 今期累計…¥ 294,000
 基金合計…¥ 9,463,038

矢島氏、長谷氏、谷茂岡氏（東京江北）
 …いつもお世話になっております。東京江北ロータリークラブからやってきました。
 今日はよろしく御願ひ致します。

ニコニコ情報

①本日の卓話は
 「公式地域雑誌『ロータリーの友』について」
 メンバー・元東分区ガバナー補佐
 元「ロータリーの友」地区代表委員
 石橋正男君に期待いたします。

三浦君、塚田君、阿部君、森本君、猪野君、平田君、
 田中君、一樹君…①

鈴木(富)君…東京江北RC矢島さん、長谷さん、谷
 茂岡さん本日はご苦勞様。矢島さんには大
 変勉強させていただいております。今日もご
 指導の程よろしくお願ひします。

今野君…本日の卓話、石橋さん よろしくお願ひ致し
 ます。

岡村君…石橋さん、本日も大いに学ばせて頂きます。

城戸君…石橋さん、いつもお世話になります。本日
 の卓話、楽しみにしています。

計 15 名

【ロータリーがくれた母との絆

2010-12年 米山記念奨学生 王磊氏】

母が初めて日本に来ました。実はその数日前から、私は母と何を話せばいいのか、悩んでいました。家庭の事情で、5歳まで祖母の元で育った私は、両親との間の壁をずっと感じて生きてきました。母と同じ部屋で寝たことも、二人でご飯を食べた記憶もありません。母が来た日、私たちが旅館に入ったのもう深夜でした。カウンセラーの田原裕司さんから「お母さんとゆっくり話してください」と言葉をかけられ、部屋に入りました。それから窓を開け、星空と、日本画のような益田の街並みを眺めるうちに心が落ち着きました。

母が荷物の中から「今朝作ったものだよ」と、私の好物の茶玉子を出してくれました。食べながら、あらためて母の顔を見ると、白髪もしわも増え、年を取ったのだと強く感じました。ふいに、感謝と申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。今も勉強を続ける私を、両親は余裕がない中で、ずっと支えてくれているのです。

「すみません。一人前になったら、必ず幸せにします！」と思わず言った私に「今も幸せだよ。おまえが日本で頑張っている姿を見たから、幸せだよ」

と、母は笑って言いました。

来日前の韓国留学中に日本人と知り合ったのを機に、「自分の目と心で、本当の日本を確かめたい」と思い、さらに日中韓の地域経済開発の専門家となる夢を抱いて、島根県立大学大学院北東アジア開発研究科に入学しました。益田RCの皆さんの厚意を受け、それに応えるために何かをしたい、と田原さんにも相談した結果、皆さんを私の故郷に誘うことにしました。

昨年8月、浙江省金華市に益田RCから8人の方々を迎えました。大畑実会長（当時）の中国語の挨拶を、両親は感動して聞いていました。二人が日本人に会ったのはこの時が初めてです。そして、その場で奨学金をいただきました。この日は会食した食堂に勤める従業員の、日本人への印象も変えたようです。食後、従業員の方から「この方々は本当の日本人ですか？」と聞かれた両親は「そうです。息子が日本のロータリアンと出会ったことは、人生の宝物です」と、胸を張って答えていました。

私から田原さんに、両親との関係を相談したことはありませんでしたが、私と両親との間に壁がある、と気付かれたようです。日本に戻ると、田原さんからメールが届きました。そこには一家だんらんをテーマにした雑誌の記事が添えられていました。「家和して万事成る 一家が和やかで安住できてこそ、世の中で事を成し遂げることができる」という田原さんの教えから、私は自分のこと、家族のことをあらためて見つめ直しました。

田原さんは私の人生の師と呼べる人です。大学の先生からは知識を学び、田原さんからは社会を学んでいます。国際経済を研究する私に、机の上では学べないことを沢山教えて下さいました。寡黙で静かな印象を受けますが、本当はとても熱心な方です。母の滞在中、益田RCの皆さんは忙しいのに、母を歓待して下さいました。帰国前夜、母は私に「おまえは、ロータリーの皆さんと出会ったことに、一生の恩を感じるべきだよ。皆さんの姿を見て、心で感じて、成長してほしい。母さんは今、幸せだよ」 厳しい母の口から何度も聞いた「幸せ」の一言、皆さんのおかげだと思います。私も、皆さんのお陰で心の壁を超えて、母の心を理解することができました。

「与えるからこそ、人は温かくなれる」益田RCの皆さんの奉仕する姿を見て、人としてどう生きるかについて、大きな示唆をいただきました。将来、希望通り、故郷の大学で教鞭をとることができたら、韓国と日本で勉強した知識・経験だけでなく、皆さんの行動を通じて学んだロータリーの精神を、若い学生たちに伝えていきたいと思っています。

(2011年「よねやまだより」より抜粋)